

# 中野区

「東京の新たなエネルギーを生み出す活動拠点へ」

中野区の現状を一言で表すと、ズバリ**“変革期”**。

「中野駅周辺の再開発」、「西武新宿線連続立体交差事業」、そして私たちが働いている「区役所の建て替え」など、今後大きく生まれ変わろうとしています。

私たちと一緒に中野区の未来を創りませんか！



中野駅周辺は**100年に1度**といわれる大規模なまちの再編の真っ只中!8年後には区民から永年親しまれてきた「中野サンプラザ」が、その機能を継承したホール・住宅・商業・ホテル等を兼ね備えた**新たな中野のランドマーク**に生まれかわります。



区保有施設の多くが更新時期を迎えており、特にここ数年間は**大規模施設の建て替えのピーク**とされています。昨年度は「中野区立総合体育館」が完成しました。現在は**令和6年度の竣工**を目指して**区役所新庁舎の整備**が本格化しています。新庁舎への移転を機に区民サービスの見直し、職員の働き方改革など従来の「お役所」の形にとらわれない、新しい区役所の実現を目指しています。



区内に5つの駅を擁し、重要な交通手段となっている西武新宿線では、朝夕ラッシュ時の**“開かずの踏切”**が問題となっています。この解決を図るために、都や鉄道会社と協力し**「連続立体交差事業(中井駅～野方駅間)」**を行っています。